

5 / 18 (水)

住用地区四小中学校 合同スポーツ交流大会 (右：南海日々新聞 下：奄美新聞)

頑張る仲間と力合わせ応援

住用地区 3年ぶり交流大会 四小中学校

奄美市住用地区の四小中学校(東城小中・住用小・住用中・市小中)の5年生以上41人が参加する「2022年度住用地区スポーツ交流大会」が18日、奄美市住用町の奄美体験交流館であった。3年ぶりに交流大会が実現。ドッジボール(5・6年生)やソフトバレーボール(中学生)混合・学校別対決で汗を流し親睦や交流を深めた。

・生徒が一同に集まり交流を深めるのが目的。
開会式で所崎繁さん(住用小6年)は「チームの仲間と力を合わせて戦い、頑張る仲間を応援します」と力強く宣誓。準備運動は島口フジオ体操で元気に体をほぐした。
競技は小学生がドッジボール、中学生がソフトバレーボールの2種目。混合や学校別対決で何試合もこなし、声をからせて応援した。

元気にコートを走り回った泉彩羽さん(住用小6年)は「他小学校との試合はとても緊張した。でも交流でき嬉しかった。来月のごさぎました」と笑顔で話した。来月の「ごさぎました」と笑顔で話した。来月の「ごさぎました」と笑顔で話した。

・住用地区学体連会長 小学校以来の交流大会の中山克彦市小中学校長は「住用の子どもたち大川亮耶さんは「普はすほらしい。小学生段と違って、他学校は明るく、楽しくできるの友達とソフトバレーした。中学生は審判や係ボールや会話もできを普段通のしっかやで良かった」と満足した」と子どもたちを労った。



3年ぶりに行われた住用地区スポーツ交流大会

熱戦、3年ぶりスポーツ交流 小中4校、混成チームで

奄美市住用町

奄美市住用町の奄美体験交流館で18日、2022年度「住用地区合同スポーツ交流大会」(同地区学校体育連盟主催)があった。区内の小中学校4校から小学5年生と中学生の計41人が参加。小学生はドッジボール、中学生はソフトバレーボールを楽しみながら交流した。

参加校は市小中、住用小、住用中、東城小中。新型コロナウイルスの影響で開催は3年ぶり。例年は男子は相撲、女子はバレーボールを行うが、今回は感染対策のため体の接触が少ない競技に変更した。



混成チームのドッジボールで息の合ったプレーを見せる児童 18日、奄美市住用町

他校との男女混成チームを結成。小学生3チーム、中学生4チームがそれぞれリーグ戦で競った。児童生徒

東城小6年の政蓮さん(11)は「他校の子と助け合って仲良くなれた。いろんな話ができて楽しかった」と笑顔で話した。